

2023.7.1(土) 11:00kickoff ヤンマースタジアム長居

桃山学院大学		2	1	前半	4	8	関西大学
			1	後半	4		
45+2分	11 片淵 竜鳳 (30 東尾 大空・8 林 莞大)		得点 (アシスト)			24分	3 木邨 優人(9 西村 真祈)
90分	14 安岡 佳毅(7 永川 寛太)					27分	OG
		29分				7 堤 奏一郎	
		45+3分				9 西村 真祈(8 菊地 孔明)	
		52分				17 百田 真登	
		67分				8 菊地 孔明(17 百田 真登)	
		74分				10 古賀 楓真(9 西村 真祈)	
		88分				13 大矢 瑞樹(10 古賀 楓真)	

時折小雨を感じるヤンマースタジアム長居で行われた関西選手権準々決勝第1試合。白熱する接戦の4回戦を制し勢いのある桃山大と前回大会王者関西大の試合は関西大のkickoffで始まった。開始早々から関西大がボールを支配する時間が続き、桃山大ゴール前まで何度も迫る。特に輝きを放っていたのが関西大のFW17,百田とMF7,堤である。この関西大学第一高出身コンビの2人は今日も輝きを失わない。百田は言わずもがな関西大のエースNo.17に恥じないプレーで桃山大に襲いかかる。堤はもはやソニック。早すぎるドリブルに加えて両足の正確なクロスで桃山大の肝をヒヤヒヤさせる。そんな中、試合が動いたのは24分、関西大はFW9,西村のCKにDF3,木邨が頭で叩きつけて先制した。その後もOGや堤のゴールで関西大リードの3-0とした。しかし、このままでは終わらないのが桃山大。45+2分にCKからDF30,東尾がヘディングで合わせてシュート。関西大GK、山田が弾いたボールが片淵に当たりゴールとなった。しかし、関西大はすぐさま、西村が取り返し関西大リードの4-1で前半を折り返す。後半も関西大ペースで試合が進み、交代に入った関西大選手が得点を重ねる。桃山大も試合終了間際にFW14,安岡が折り返しのクロスに懸命に足を伸ばし、スーパーゴールで一矢報いるがそこで試合終了。8-2と関西大が王者の風格を漂わせる勝ち方で総理大臣杯のチケットを1番乗りで獲得した。

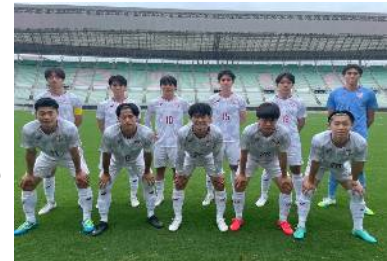


Reported by 康本一太

2023.7.1(土) 13:30kickoff ヤンマースタジアム長居

立命館大学		7	4	前半	1	1	京都橘大学
			3	後半	0		
38分	9 大谷 優斗		得点 (アシスト)			31分	11 甲元 大成(17 中川 樹)
43分	9 大谷 優斗(11 小西 宏登)						
44分	9 大谷 優斗(7 竹田 豪)						
45+1分	9 大谷 優斗(28 中野 瑠馬)						
56分	9 大谷 優斗(25 戸水 利紀)						
60分	25 戸水 利紀						
66分	24 秋葉 拓人						

立命大対京都橘大の京都対決となった関西選手権準々決勝がヤンマースタジアム長居にて行われた。春に行われた京都府選手権では3-2で京都橘大が勝利している。リベンジに燃える立命大と創部後初の総理大臣杯出場を目指す京都橘大の試合は拮抗した展開になると予想されたが、試合の展開は一方的なものになった。先制点を奪ったのは京都橘大。31分、DF17,中川のCKにFW11,甲元が頭で合わせゴールネットを揺らす。しかし、ここから立命大の怒涛の反撃が始まる。38分、MF11,小西のクロスから混戦になり、こぼれ球に反応したFW9,大谷がゴールを決める。さらに43分、またも小西のクロスから大谷が今度は頭で合わせ逆転。直後の44分、DF7,竹田のクロスに合わせたのはまたしても大谷。大谷はその後も1点を決め、前半だけで4ゴールの大暴れ。後半に入っても大谷は止まらない。56分には、スルーパスに抜け出し、GKとの1対1を落ち着いて決めて5ゴール目。怪我の影響でリーグでの出場が少なかった大谷が本大会にてついにその才能を遺憾なく発揮した。立命大はその後、MF25,戸水と途中出場のMF24,秋葉がゴールを追加し7-1で勝利、6大会ぶりの総理大臣杯出場を決めた。一方の京都橘大は敗れるも最後まで懸命に戦う姿勢を見せた。



Reported by 吉田岳玄

2023.7.2(日) 11:00kickoff ヤンマースタジアム長居

阪南大学	2	1	前半	0	1	京都産業大学
		0	後半	1		
		0	延長前半	0		
		1	延長後半	0		
23分	9 三好 麟大	得点 (アシスト)			59分	7 福井 和樹
104分	40 川端 元					

総理大臣杯の4枠が決定する運命の準々決勝。阪南大と京産大の一戦はヤンマースタジアム長居で行われた。序盤から拮抗した攻防を繰り返しながら、この均衡を破ったのは阪南大だった。23分、味方からのクロスボールを上手くコントロールしたMF9,三好は、相手GKの数10センチ上に行くシュートを打ちゴールネットを揺らす。失点を取り返したい京産大は40分、MF10,食野がPA付近中央からシュートを放ったが、ボールはバーに直撃し得点とはならなかった。そしてそのまま前半は終了。後半が開始して10分ほど経ったころ、京産大はPA内でPKを獲得する。そしてMF7,福井が冷静にシュートを決め、スコアを1-1にした。その後、両チーム譲らないまま90分が経ち、試合は延長戦にもちこまれた。そしてこの延長戦は阪南大の得点が大きな鍵を握った。104分、PA内の混戦を見事に切り抜け、DF40,川端がシュートを決めた。京産大の攻撃もあと一歩届かず、そのまま試合終了。勝利した阪南大には、関西の代表として全国でも素晴らしいプレーで魅了してくれることを期待したい。



Reported by 細越咲月

2023.7.2(日) 14:05kickoff ヤンマースタジアム長居

関西学院大学	2	0	前半	1	1	同志社大学
		1	後半	0		
		1	延長前半	0		
		0	延長後半	0		
64分	10 倍井 謙(11 望月 想空)	得点 (アシスト)			35分	9 渋谷 勇希(44 中山 織斗)
98分	7 濃野 公人(17 高木 大輝)					

選手たちの熱い気持ちに呼応して灼熱と化したヤンマースタジアム長居で行われた関西選手権大会準々決勝。勝てば全国大会、負ければ敗退の一番。序盤から白熱した戦いとなった。6分、同大FW9,渋谷がゴール前でボールを奪いMF44,中山がGKを抜きにかかるとラインアウト。ビッグチャンスモノにできなかった。試合が動いたのは35分。中山がボールを奪い、渋谷が冷静に流し込み、同大が待望の先制点を獲得。ボールを支配しているがなかなか攻めきれない関学大と鉄壁の守りを見せる同大。矛と盾の対決はヒートアップする。63分、関学大MF10,倍井がMF8,佐藤と途中交代FW11,望月と Rondし、最後はまた抜きシュートがゴールにこんには。1-1と同点に追いついた。同大は81分、MF10,戸坂のスルーパスに抜け出した渋谷のシュートをGK22,成田がファインセーブ。このまま後半が終了し延長に入る。試合を決定づけたのは98分。日本で一番熱い漢、関学大キャプテンであるDF7,濃野が交代直後のファーストタッチで決め劇的な勝ち越し弾となった。このまま試合は終了し、2-1で関学大が全国出場を決めた。間違いなくこの試合のヒーローは熱き漢、濃野だろう。



Reported by 田中心